



与論町立与論小学校

与論小だより

<キャッチフレーズ>

Smile No. 1

令和3年12月15日



ブログはこちらから

校訓：至 誠【 真心をもって人に尽くす 真心をもって事にあたる 】

本当の幸せとは・・・

校長 岩元 輝美

早いもので、2学期も残すところあとわずかとなりました。教児共に2学期のまとめと定着に励んでいます。そんな中、先日12月3日(金)に、校内持久走大会を開催しました。子供たちには、自己記録更新を目指して「自分の力を精一杯出し切る」「仲間に精一杯の声援を送る」そんな姿が溢れていました。また、沿道には、保護者をはじめたくさんの地域の皆様が駆けつけてくださり「子供たちを温かく精一杯声援する」姿がありました。持久走大会においても、いろいろなところで「一生懸命はかっこいい」を具現化する姿が見られ、とてもうれしく思いました。



さて、もうすぐクリスマスや正月を迎えますが、御家庭ではどのようにお過ごしの予定でしょうか。私の幼い頃は、年末に新しい服や靴などをそろえてもらって正月を迎えていました。「盆と正月」という言葉があったくらい、めったに新しい物を買ってもらえなかった時代でした。それだけに新しい服や靴を買ってもらったときの喜びは大きく、なんとも言えぬ幸福感に包まれたものです。それに比べ、いつでもすぐに服や靴を買ってもらえる今の子供たちはどうなのだろうかと思うことがあります。お年玉の金額も昔と比べものにならないくらいの高額になり、小学生でも何万円という金額を手にする子供もいるようです。一方では、「どうしてこんな品物がわずか100円で買えるの?」というくらい価格と商品価値が引き合わないものがたくさん出回っています。それらが、外国の低い労働賃金で生産されていることを知る由もない子供たち。世界では、5～17歳の子供のうち10人に1人、約1億5200万人が学校にも行けず働いているそうです。そんな児童労働の実態を知ると、日本はこれでいいのだろうかと思ってしまいます。また、国内においても、温かい寝場所さえないホームレスの方が相変わらずおられます。その一方で、お年玉で高額な福袋やゲームを買うために殺到する子供たちの姿が報道される状況もあります。その大きな格差に唖然としてしまいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



冬休みは、今年一年の締めくくりであると同時に新しい年を迎える節目でもあります。また、家族や親戚等でゆっくり話すいい機会です。是非機会を捉え、子供たちに「当たり前ではない日常のありがたさ」や「本当の幸せ」という生きていく上での本質的な部分を語ってみてはいかがでしょうか。